

# 都市再生整備計画(第4回変更)

ながれやまししんしがいち  
流山市新市街地区

千葉県 ながれやまし  
流山市

平成20年3月



## 都市再生整備計画の整備方針等

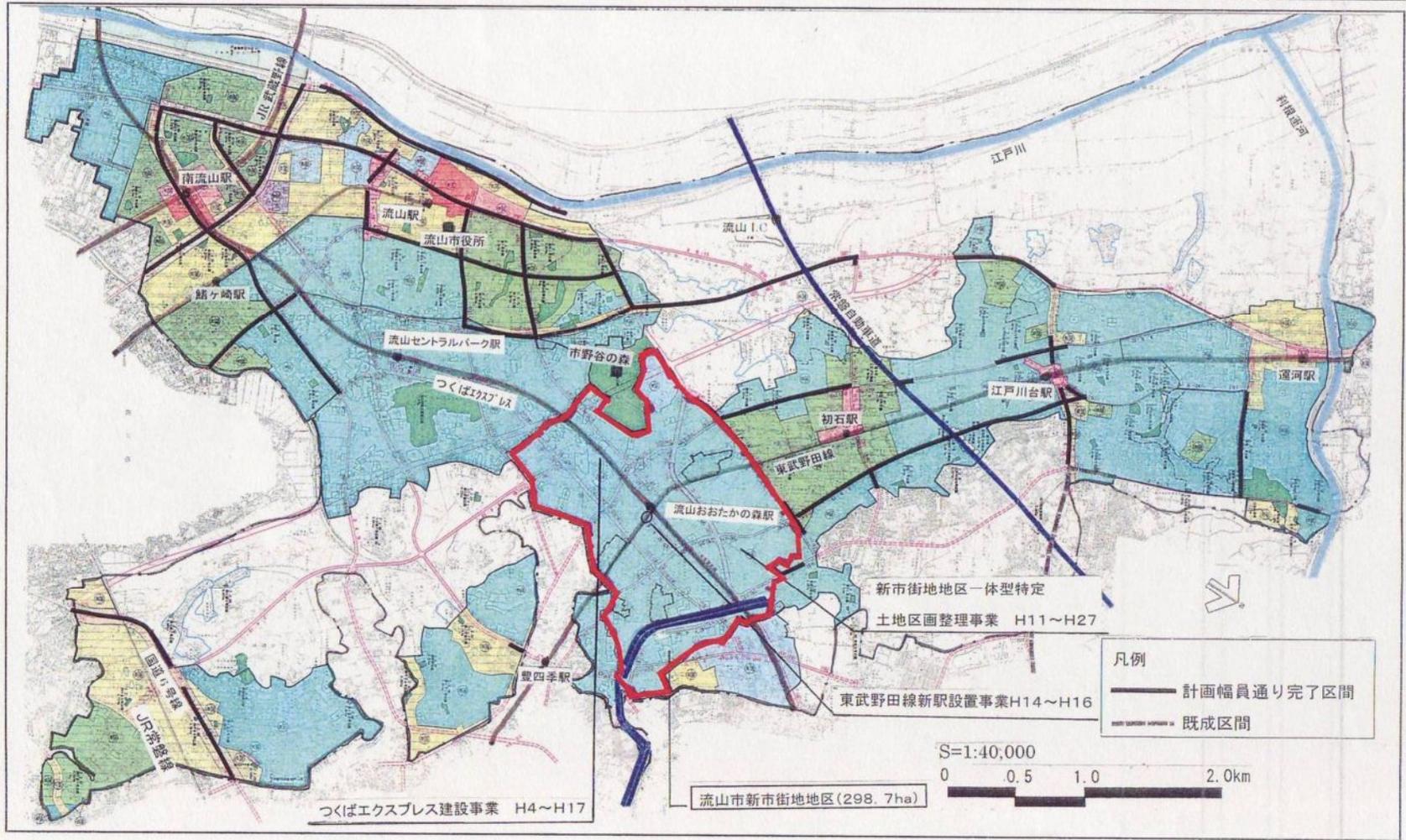
計画区域の整備方針	方針に合致する主要な事業
<p>整備方針1(新たな市街地の顔となる緑の空間の創出)</p> <p>・当該地区は隣接の「市野谷の森」に代表されるように緑が多く残されている地域であり、つくばエクスプレスと東武野田線により4つに分断されるエリアに各1箇所ずつ計画されている近隣公園のうち、新駅開業に合わせてまちづくりが行われている街びらきエリアに位置する公園を市民の交流と憩いの空間の創出と快適性の向上を図るため良質な緑の拠点整備を行う。</p>	<p>公園事業(仮称2号近隣公園)(基幹事業、市)、土地区画整理事業(関連事業)</p>
<p>整備方針2(市の中心となる便利で快適なまちづくり)</p> <p>・流山市の中心核を形成するために、つくばエクスプレス流山おおたかの森駅、東武野田線新駅及び駅前広場整備等により公共交通の拠点づくりを行う。</p> <p>・駅周辺部においてセンター地区を設定し、商業・業務・文化機能の導入に努める。</p> <p>・つくばエクスプレスと東武野田線の両鉄道により分断される地域間の円滑な歩行者動線を確保するため、土地区画整理事業の駅前広場整備と合わせ両鉄道駅間の乗り換えの利便性向上を図るとともに、当該地区のシンボリックな施設として自由通路(高次都市施設)の整備を行う。</p> <p>・駅周辺部の歩行者・自転車動線の円滑な処理を可能にするために、つくばエクスプレスの高架下を利用して東西方向に横断する公開空地(通路)(高質空間形成施設)の整備を行うものである。</p> <p>・バス、タクシー等の公共交通機関の利用を促進するとともに利用者の快適性を高めるためシェルターの整備を行う。</p> <p>・防災性の向上を図るために、耐震性貯水槽の整備を行う。</p>	<p>高次都市施設整備(自由通路)(基幹事業、市)、高質空間形成施設整備(公開通路)(基幹事業、市)、(バスシェルター等設置[東口])(基幹事業、市)、地域生活基盤施設(耐震性貯水槽)(基幹事業、市)、土地区画整理事業(関連事業)、つくばエクスプレス建設事業(関連事業)、東武野田線新駅設置事業(関連事業)、街路事業(関連事業)、調整池整備(関連事業)、河川整備(関連事業)、排水(汚水、雨水)整備(関連事業)</p>
<p>その他</p> <p>○事業終了後の継続的なまちづくり活動</p> <p>・公園の維持管理、清掃等については、地域の住民参加を検討している。住民参加を行う事により、地域内のコミュニティ形成につながり、愛着のあるより地域と一体となった施設の位置づけが確保できる。</p>	



都市再生整備計画の区域

流山市新市街地地区(千葉県流山市)

面積	298.7 ha	区域	流山市大群字割内、市野谷字入台、字後山、字宮尻、字二反田、字牛飼沢及び字牛飼並びに東初石6丁目の全部並びに大群字向山、字小坂及び字南割、三輪野山字向原、西初石5丁目、西初石6丁目、市野谷字字久保、字三嶋、字向山及び字立野、野々下1丁目、美田、東初石3丁目、東初石5丁目、十太夫、駒木並びに駒木字上駒木、字駒木橋上、字中橋上、字中溜上及び字堂台の各一部
----	----------	----	---



つくばエクスプレス建設事業 H4~H17

流山市新市街地地区(298.7ha)

東武野田線新駅設置事業H14~H16

新市街地地区一体型特定  
土地区画整理事業 H11~H27

凡例  
 計画幅員通り完了区間  
 既成区間

S=1:40,000  
 0 0.5 1.0 2.0km

## 流山市新市街地地区(千葉県流山市) 整備方針概要図

目標 周辺に残る自然林等の環境資源を活用しながら都市と自然が共存する「アーバンパストラル」をテーマとした流山市の中心となる快適なまちづくり。	代表的な指標	1人当りの公園緑地面積 ( m <sup>2</sup> )	0.2 (H16年度) → 3.1 (H20年度)
		人口数 ( 人 )	4,000 (H16年度) → 6,800 (H20年度)
		歩行者の移動所要時間 ( 分 )	13 (H16年度) → 6 (H20年度)

